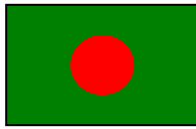


আসসালামু আলাইকুম

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



Bangladesh通信 NO.23
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2009年9月9日

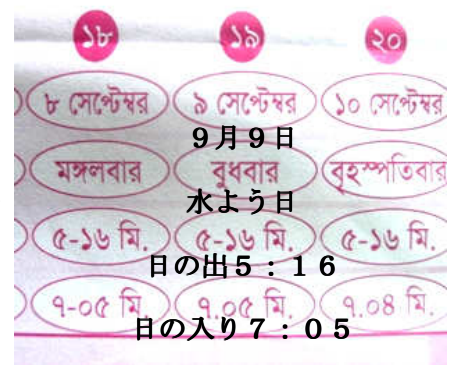
今年も断食が始まりました

岩美西小学校のみなさん。アッサラームアライクム。お元気ですか。運動会も終わり、2学期の学習もいよいよ始まりますね。

こちら Bangladesh は、8月23日から断食が始まりました。この時期は、断食の後にある大きなお祭り「イード」の頃まで学校はお休みになります。学校から子どもたちの声が消えて少し寂しいです。さて、去年は断食をどうしてするのか、ということについて書きましたので、今年も断食の様子を伝えたいと思います。

断食は約一ヶ月間。その間、お日様が昇っている間は食べ物、飲み物を一切口にしないのです。お日様が沈んだ時、イフタルという食事をとります。断食の一ヶ月間はお日様が沈む時間を書いたカレンダーのようなものが配られ、みんなその時間を待ちながら一日を過ごします。

カレンダーのいちぶ



断食の時期はいつも以上に神様に一生懸命お祈りをする時期でもあるので、多くの人々がトッピ（ぼうし）をかぶりパンジャビ（正式な服）を着て、神様を信じる気持ちを表します。

←長いコートのような服がパンジャビ



←お店のお兄さんやリキシャの運転手もトッピ。



残念ながら、いいことばかりではありません。おなかがすいてイライラしている人も多く、仕事がかたどらなかつたり、追ばたでけんかをしたりしている人をよく見かけます。私たちがから見るとつらそうな断食ですが、多くの人にとっては、この我慢が「神様を信じる」ということにつながるのです。

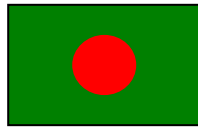
残念ながら、いいことばかりではありません。おなかがすいてイライラしている人も多く、仕事がかたどらなかつたり、追ばたでけんかをしたりしている人をよく見かけます。私たちがから見るとつらそうな断食ですが、多くの人にとっては、この我慢が「神様を信じる」ということにつながるのです。

イフタルの前はみんなおなかがペコペコ。イフタルを売るお店の前には行列ができます。そして日が沈むとアザーンというお祈りの放送があり、店員さんたちもお店をしめて、食事を始めます。

আস্রানাঙ্কু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.24
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2009年10月1日

バスでとなりの国へ

バングラデシュで過ごす2年の間にどうしてもしてみたいことがありました。
 「陸路(バスや列車)で隣の国へ行く」ということです。海に囲まれた島国、日本では陸路
 でほかの国へ行くことはできません。ほかの国のことを「海外(海の外)」と言うくらいで
 すから。イードという断食明けのお休みを利用して、お隣の国インドに行ってきました。

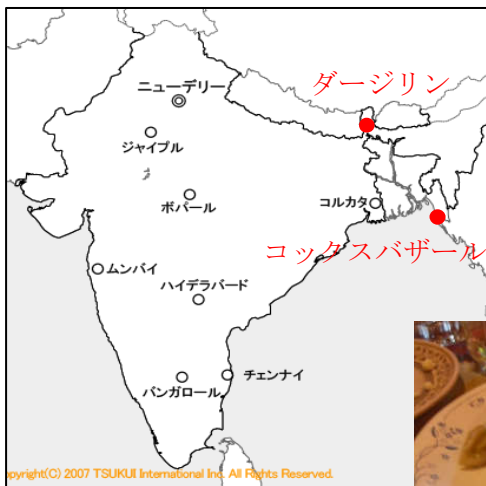


左からバス、
 テンパー、バ
 ンというの
 りものです。
 これらをの
 りついで国
 境まで行き
 ました。



バングラデシュの北にあるラルモニルハット県のプリマ
 リという町とインドのチャングラバンダという町との間に
 国境(国と国の境目)があります。途中、パスポートを見せ
 ていよいよインドへ入国です。

目に見えない国境を越えると、なんと時刻は1時間半も
 違います。(サマータイムの場合。時差については前におた
 よりで伝えましたよね。)けれども、バングラデシュと近い町
 ではバングラデシュと同じベンガル語が使われているので、
 すぐには違う国に来たという気がしませんでした。



今回は紅茶で有名なダージリンという町へ行きました。こ
 こは高い山にある町で、バングラデシュに比べてずいぶん寒
 かったです。バングラデシュには山がほとんどありません。
 あっても低い山ばかりです。山のある景色を久しぶりに見て、
 当たり前のように山があった鳥取の景色をなつかしく思い
 ました。



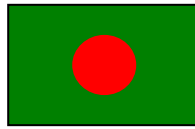
ダージリンではチベット料理「モモ」が食べられます。ぎょうざに似た食べ物です。

copyright(C) 2007 TSUKUI International Inc. All Rights Reserved.

আস্রানাৰু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.25
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2009年11月26日

じゅうたいのわけは。。。？

ずいぶん久しぶりのおたよりになってしまいました。この間、何日か日本に帰っていたときには学校で会うことができた人もいましたね。元気そうな様子が見られてうれしかったです。

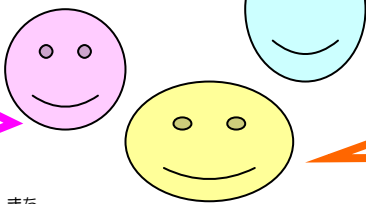
さて、日本はそろそろクリスマス、年末年始の準備で町がにぎわっていることでしょう。こちらバングラデシュも、毎日おおにぎわい。町はいつも渋滞です。さて、渋滞のわけは？という、実はこれが原因です。



今年の11月28日は「コルバニード」といってイスラム教徒の人々が牛やヤギをいけにえとしてジョバイして(殺して)神様にささげるお祭りです。そのために、大きな広場では牛の市場が開かれ、牛を買った人々はそれを家まで連れて帰ります。牛たちも自分が殺されることがわかっているかのように、道路の真ん中で「いやいや」をすることもあり、車もリキシャも大渋滞・・・というわけです。

町ではこんな会話も聞こえてきます。

今年は、もう牛買った？
 うちはまだ。



うちは買ったわよ～。今年はずいぶん高かったよ。

うちもまだよ。よかったらいっしょに買わない？牛って高いし。

コルバニード当日は、町のいろんなところでジョバイの様子を見ることができます。そしてその肉は、3等分され、①家族、②親戚たち、③貧しい人たちへと分けられます。

さて、バングラデシュもずいぶん寒くなってきました。もう半そででは生活できないくらいです。(気温は20度くらいですがかなり涼しく感じます。)

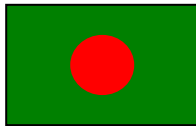
バングラデシュの人たちは寒くなるとこんな格好をしています。シャツにジャケットをはおり、マフラーをまいて・・・けれども下はロンギ(男性用の巻きスカートのようなもの)に足元はサンダル。日本では「頭寒足熱」というように足元から暖かくするものですがね。



আস্রানাঙ্কু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.26
20年度1次隊 青年海外協力隊
岩美町立岩美西小学校 宮本優子
2009年12月7日

こんな活動をしています

今回は私の活動を紹介します。私は「子どもたちが楽しいと感じるような授業のしかたをバングラデシュの先生たちに伝える」ために派遣されています。



バングラデシュの普通の授業といえば、教科書を読んで、それを覚えるというものがほとんど。日本のように道具を使って考えたり自分の意見を発表したりするチャンスがとても少ないです。だから子どもたちはたいていつになつてとなりの人とおしゃべりしたり、ノートをちぎって遊んだり・・・。

けれども次の学年にあがるためにはテストに合格しなくてはならないので、テスト前には分厚い教科書を一生懸命覚えようとします。合格できない子どもは何年も同じ学年で学びます。それがいやで学校に来なくなってしまう子どももいるのです。

私と同じ時期に来た隊員の中で、同じ仕事をしている隊員が4人います。今は5人で力をあわせて、先生たちのトレーニングを行っています。どうすれば子どもたちが「もっと学びたいと思うようになるのか」について話をしたり、グループに入って一緒に授業の計画をた



てたりしています。ここでは、みなさんと一緒に日本で学習していたときの経験がとても役に立っているのですよ。

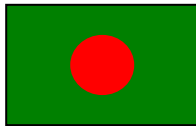
先生たちが「こうすれば子どもたちが楽しく学べるのね」「私もこういう授業をしてみたい」といってくれることが一番の喜びです。



আস্রানাধু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



Bangladesh通信 NO.27
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2009年12月14日

「はこび」

最近、バンガリ(荷車)をよく見かけます。12月は Bangladesh の引越しシーズンなのです。どうして12月に多くの方が引越しなのでしょう。



…12月はほかの月に比べてずいぶん涼しいからね。引越しでたくさん体を動かしてもつらくないんだ。



…学校が1月から始まるからだよ。ほかの通う学校は今の家からは遠くて通いにくいから学校の近くに引っ越すんだよ。



この時期は雨がふらなくて、引越しの時に家具がめれる心配がないからね。…

そういうわけで道は大荷物を運ぶバンガリで混雑します。一回でなるべくたくさんの荷物を運ぼうとするので、バンガリの荷台は荷物の山！時々「工夫してのせているな～」と感心することもあります。

荷物を運ぶバンガリのほかに、リキシャもたくさんの人やものをはこびます。

←足元に荷物を載せる乗り方は当たり前。



こんなに荷物をつんで、さらに人まで！？
 運転手さんは大変でしょうね。 ↓



←時にはこんな長いはしごも、荷物だけをのせて走ることも。 ↓



クイズ

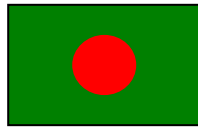
さて、久しぶりのクイズです。右の写真はなにを運ぶ車でしょうか？答えは次のおたよりで！



আস্রানাৰু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



বাংলাদেশ通信 NO.28
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2009年12月23日

বিজয়ী টাইবোর্শু

12月16日は朝からいろいろなところで演説が行われたり、道では Bangladesh の国旗を掲げた人たちの行進が行われたりと、町が大にぎわい。この日は「ビジョイ・ティボーク」^{せんそう}とって、戦争に勝った記念日なのです。



昔、Bangladesh と Pakistan はひとつの国で、Bangladesh は東 Pakistan と呼ばれていました。1971年、Pakistan から独立するための戦いをしました。12月16日は、Pakistan 軍が「もう戦争をやめます」と言い、Bangladesh 軍の勝ちが決まりました記念すべき日なのです。

その後、3月26日には「Bangladesh」という国として独立宣言をしました。その日は独立記念日となっています。

町では国旗を売る人も。小さいもので20タカ(30円)くらいです。



バスにも国旗!

車にも。

前にも「国の言葉を守るために戦争をした」という話をしたと思います。Bangladesh は、何度も戦いをして今の国になりました。なので自分たちの今の国を大切にしようとする気持ちが強いのかもかもしれません。

クイズの こたえ

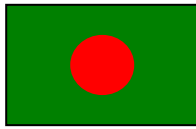


この自転車ではこぶもの、それは…「にわとり」でした。ぎゅうぎゅうづめにされて、おにくになるためにつれていかれているすがたを見ると、少しつらい気持ちになります。けれども、その分、かんしゃしていただいています。それでは、みなさん、よいおとしを!

আস্রানাৰু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম

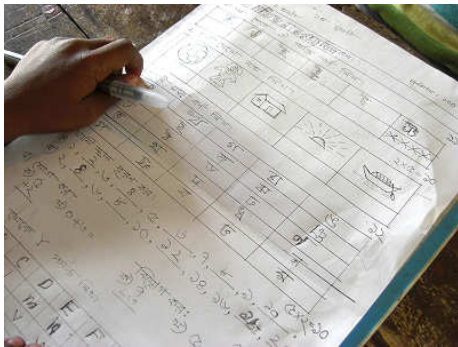


Bangladesh通信 NO.29
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2010年1月12日

しゅぼ のぼぼっしょ!

みなさん、シュボノボボッショ（あけましておめでとうございます）！年末年始はたくさん雪が降ったそうですね。風邪などひいていませんか。こちら Bangladesh も、この冬はずいぶん寒く、私は去年の冬よりも厚着をしています。

さて、1月10日には小学校でテストがありました。入学するためのテストです。年長さんくらいの小さな子どもたちが一生懸命がんばっていました。



どんなもんだいが出たの？

（ひらがな、すうじをかきましよう）

驚から心配そうにのぞいています

それから、年末には「ショマポニポリッカ」（卒業試験）という大きなテストが初めて行われました。Bangladesh 全国の小学校5年生がテストを受けました。10人中9人の子どもが合格し、ハイスクールに進学できるそうです。テストには①とてもすばらしい ②すばらしい ③よい ④ふごうかくという段階があって、私のオフィスの隣にあるシャヒッティカモデル小学校では、①57人、②11人で68人全員が合格できたそうです。「マダム！合格したよ」と報告にくる子どもたちにあって、私もとてもうれしくなりました。

入学にも卒業にもテストがあるので、子どもたちもおうちの方も一生懸命です。

①とてもすばらしい	57人
②すばらしい	
③よい	11人
④ふごうかく	

クイズ

下の写真は Bangladesh のお金（10タカさつ）です。Bangladesh で、にせものとほんもののおさつを見分ける方法は次のうちどれでしょう？

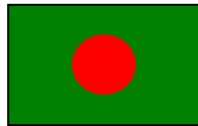


- ①はしっこを、すこしちぎってみる。
- ②ライターで火をつけてみる。
- ③くしゃくしゃにまるめてみる。

আস্রানাধু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.30
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2010年1月28日



おひるごはん

日本では給食週間でしょうか。野菜
 を作っていらっしゃる方、調理してくだ
 さる方など、いろいろな人のおかげで私
 たちは毎日あたたかくておいしい給食
 を食べることができています。



バングラデシュには今のところ給食という
 仕組みがありません。お弁当を持ってくるか、家
 に帰って食べてからまた学校にやってきます。
 お弁当の中身は・・・？もちろんカレーです。
 ごはんとトルカリ（カレー）を手で混ぜて食べ
 ます。みんなでひとつの机に集まってワイワイ
 食べる様子は日本もバングラデシュも同じです。

お弁当箱の形が日本とは少し違います。小学校
 でよく見るのは、丸い形の2段重ね。上にトルカ
 リ、下はごはんとなっています。カレーは冷めると
 おいしくないで、魔法瓶の水筒のようにおかずが
 冷めにくくなっているお弁当箱も多いです。

今、バングラデシュでは貧しい子どもたちもなる
 べくたくさん学校に通えるようにするために、学校
 給食を始めようという動きもあります。



クイズのこたえ

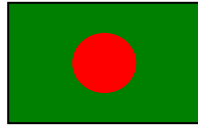
にせものとおほんもののおさつを見分ける方法は・・・③「くしゃくしゃにまるめてみる」
 でした。ほんもののおさつは、まるめたあとふわ～っと広がってきますが、
 にせものはくしゃくしゃのままなのだそうです。
 でも、広がってきてもシワがついたままなので、おさつ
 は前よりきたなくなってしまうのです。あらら。



আস্রানাঙ্কু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.31
20年度1次隊 青年海外協力隊
岩美町立岩美西小学校 宮本優子
2010年2月23日

春のおとずれ

日本ではまだ寒さが続いているでしょうか。バングラデシュでは2ヶ月ほど続いた冬が終わり春がやってきました。バングラデシュでは10月から、ほとんど雨が降っていませんでしたが、2月15日の朝ぱらぱらと雨が降りました。この雨を合図に、だんだん暖かくなってきています。去年も2月の中旬ごろに雨が降り、暖かくなっていったのを覚えています。自然というのは不思議なものです。



さて、これは何でしょう？

10月から2月はほとんど雨が降りません。その間、道路のわきにある草は土やほこりをかぶってまっ茶色になってしまうのです。下のほうにある葉はきれいな緑色です。



さて、ここはどこでしょう？

インドからバングラデシュに流れてくる大きな川「ガンジス川」です。雨の降らない日が長く続くと、大きな川も干からびてしまい自転車や人が通れる道になります。



たう 田植えを
する男性

川ぞいの道を、荷物を頭にのせてはこんでいく女性たち

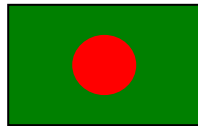


バングラデシュの春は1ヶ月間と短く、私がバングラデシュを出発する3月21日には、日本の真夏のような暑さになっていることでしょう。

আস্রানাধু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



বাংলাদেশ通信 NO.32
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2010年3月3日

絵画コンクール

みなさんの今年度の^{こんねんど}図^ず工^{こう}作品^{さくひん}の中からいくつかの作品^{さくひん}が^{おく}バングラデシュに送られてきました。すばらしい作品ばかりで、こちらの先生や子どもたちとびっくりしながらみえています。ありがとうございました。

さて、こちらからも子どもたちの作品を送りました。シャヒッティカモデル小学校には400人もの子どもたちがいるので^{ぜんいん}全員の絵は送れませんが、コンクールをして入賞した^{さくひん}子ども^{おく}の作品を送りました。選ばれた子どもたちはとてもうれしそうです。



作品をえらぶ先生たち



村の風景(6年)

わたしの気に入りに(2年)

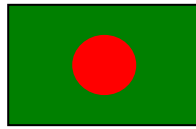
入賞した4年生の子どもたち

入賞した子どもたちには、鳥取県の方が寄付してくださったペンケースを^{しょうひん}賞品として渡しました。いつもはペンケースを使う習慣のない子どもたちですが、入賞した子どもたちはそれをうれしそうに毎日使ってくれています。

作品をとおして、くらしの様子や文化の違いなどを感じてもらえると嬉しいです。

西小のみんなや先生方の協力のおかげで作品交換などができ、とてもうれしかったです。みなさん本当にありがとうございました。

আস্রানাঙ্কু アッサラーム アライクム আলাইকুম সেলাম



バングラデシュ通信 NO.33
20年度1次隊 青年海外協力隊
岩美町立岩美西小学校 宮本優子
2010年3月15日

世界のためにできること

1年9ヶ月暮らしたバングラデシュや、そこに住む人たちとお別れの時期がやってきました。日本では出会えなかった人やものにたくさん出会うことができました。大切な人やものができるということはとてもすてきなことです。

10月には6年生も総合の学習で「世界のために自分ができることはなにか」と一生懸命考えていましたね。私はたまたまバングラデシュという国に住むチャンスに恵まれ、その経験を通して「日本にいても世界のためにできることがたくさんある」ということに気づきました。私はもうすぐ日本に帰りますが、これからの自分の生活を見直していきたいと思います。みなさんも自分ができることを考えてみてください。そして考えたことをたくさんの人に伝えて、みんなが少しずつ何かに取り組みれば大きなことができるはずだと私は信じています。

私の大切な人やものを写真で紹介して、最後のお便りとしてします。



ドリルをもらってよろこぶ1・2年生



西小から送られてきたビデオを見る4年生



大好きなバングラのお父さんお母さん



フーゲンビルアの花



トルカリ

2年間読んでくれてありがとうございました。みなさんと日本で会えるのを楽しみにしています。新しい学年・学校でも自分らしくかがやいてください。